

中高生の児童館における 若者食堂を通じた進路就職の相談支援 中間報告

特定非営利活動法人サンカクシャ

学校や社会に馴染めない15歳から25歳くらいまでの若者を孤立させず、社会サンカクを応援する

アウトリーチ

居場所作り

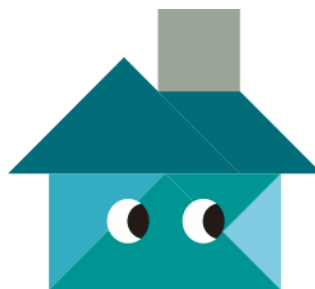
社会サンカク

「バンソウ」



関心を
向けてくれる人と
話す経験

「タマリバ」



多様な人と
関わる経験

「ブカツ」
「バイト」



社会と
関わる経験

設立当初より連携していた中高生の児童館にて、夏休み期間に給食がないため、10キロ近く痩せてしまった中学生がいた

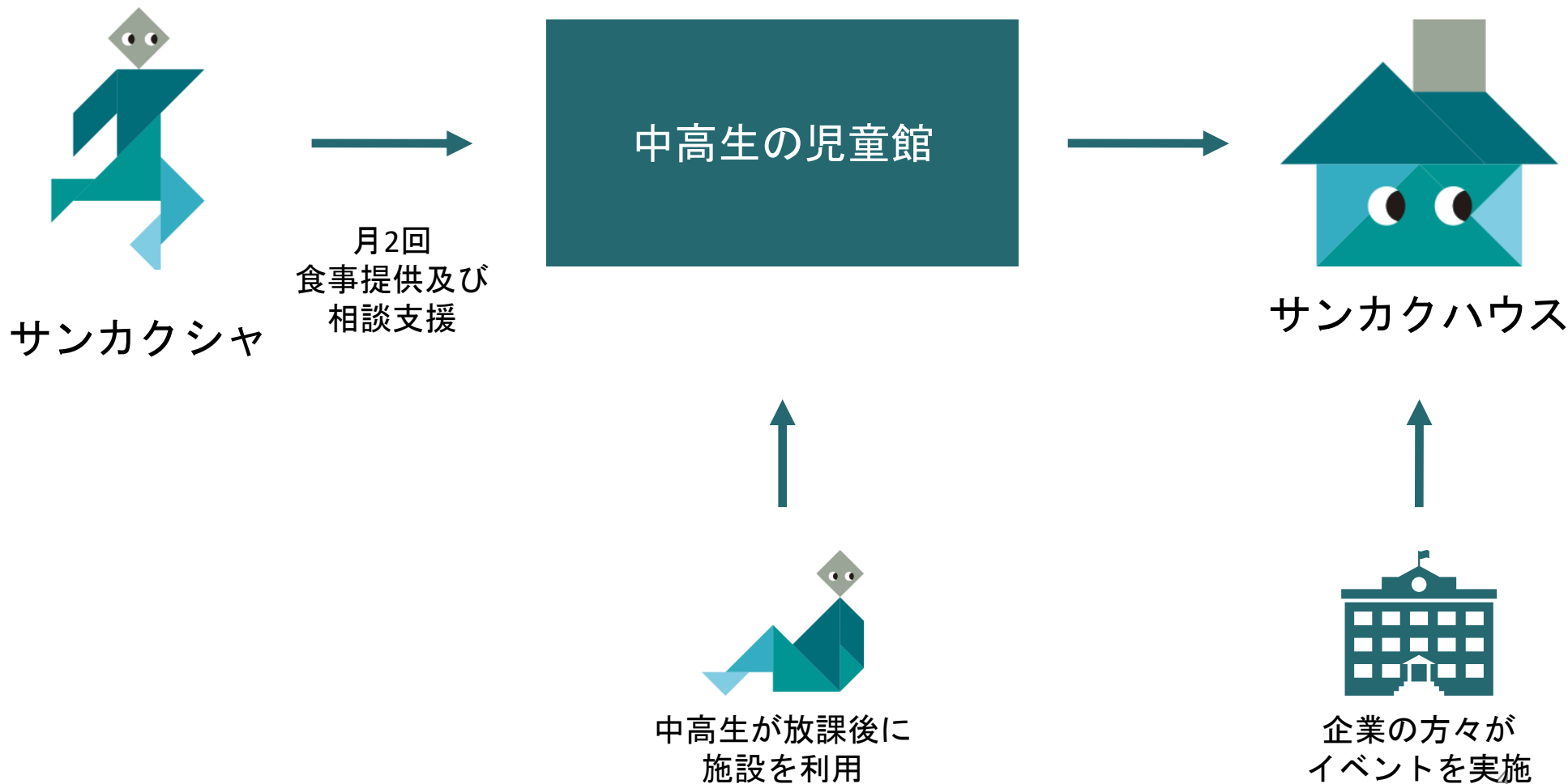


児童館としては、食事の提供及び個別の支援ができないという制約があった



サンカクシャが食事提供を行い、個別支援を行うことからこの活動がスタート。

中高生が集う児童館にて、食事提供を通じて、アウトリーチを行い、
相談支援及び企業との接点作りを行う



1

困難を抱える若者へアウトリーチにつながる

実数で**23**名の若者がサンカクシャにつながる

2

企業と連携した進路相談会などの実施を通じて
若者の進路就職の意欲が向上する

※今後アンケートを実施し、定量的・定性的に評価する

3

今後5年の子ども若者支援の総合計画に中高生の児童館の利用者のOBの支援が重点事業に盛り込まれる

1

児童館との今後の連携

支援に必要な若者が児童館からサンカクハウスに利用がうつったことから、児童館での相談支援でなく、サンカクハウスでの相談支援を実施する

2

イベント実施の運営者が不足している

職員及びソーシャルワーカーが既存のケース対応で手一杯でこうしたイベント運営に携わるスタッフが不足している。

利用者の多くは口コミで集まることから、
児童館だけでのアウトリーチではなく、
利用者の友人にリーチできるようにイベント実施を行う



進路相談会



企業とのコラボイベント

